

おうらまち

議会だより



平成23年 11月臨時会・12月定例会

中野幼稚園の新春もちつき

平成 23 年度補正予算可決（一般会計・各特別会計）

一般質問 【9人の議員が町の考えを問う】

小沢泰治議員、田部井健二議員、松村 潤議員、原 義裕議員
本間恵治議員、坂井孝次議員、小島幸典議員、大野貞夫議員
塩井早苗議員

可決された議案…………… 3

一般質問…………… 3～10

わたしのふるさと等…………… 11～12

No130

やさしさと活力あふれる 町づくりを目指して

年頭のあいさつ



議長 立沢 稔夫

二〇一二年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて昨年は、東日本大震災や全国各地での集中豪雨など大災害に見舞われた一年でした。特に、地震による大津波は福島第一原子力発電所の事故を引き起こし、今なお、多くの被災者が故郷を離れての生活を送っています。被災地の一日も早い復興を願っております。

また、政治経済に目を向けますと、政権交代後の民主党は、マニフェストの崩壊が続き、党内の亀裂へと発展しています。国内経済では、ＴＰＰ問題が農業経営に大きな不安を与え、企業は円高の影響で生産計画を海外に移すなど厳しい状況が続いています。

今後、当町も財政面で大きな影響を受け、健全財政から一転し厳しい状況が予想されます。

やさしさと活力にあふれ、安全・安心に暮らせる町づくりを願い、事業執行のチェック機関として、厳粛に役目をはたすことが議会に課せられた使命と考えます。

議員一同誠心誠意新たな決意のもと努力いたします。本年もご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

謹んで新年のお慶びを申し上げます

総務教育常任委員会

議長 立沢 稔夫
副議長 岩崎 律夫

委員長 田部井 健二

副委員長 大野 貞夫

委員 細谷 博之

委員 小沢 泰治

委員 原 義裕

委員 塩井 早苗

産業福祉常任委員会

委員長 小島 幸典

副委員長 坂井 孝次

委員 本間 恵治

委員 岩崎 律夫

委員 半田 晴

委員 神谷 長平

委員 松村 潤

可決された 議案

11月臨時会

邑楽町職員の給与に関する
条例等の改正

人事院勧告にもとづき、
職員の給料を引き下げまし
た。

12月定例会

邑楽町税条例の改正

地方税法の改正に伴い、
寄付金控除の限度額を引き
下げました。

スポーツ基本法の施行に
伴う関係条例の整理に関
する条例

スポーツ基本法の施行に
伴い関係条例を整備しまし
た。

損害賠償請求事件の和解
について

ぐんまフラワーパーク内
にて発生した事故の後遺症
について、被害者と係争中

である損害賠償請求事件に
つき、裁判所から示された
和解勧告条項案のとおり和
解することに決定しまし
た。

〔指定管理者の指定〕

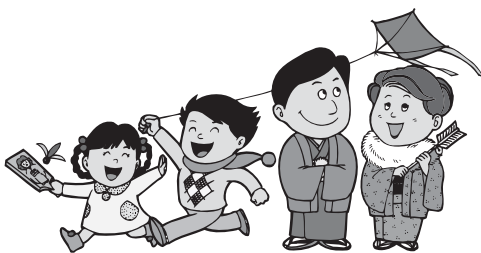
邑楽町農畜産物処理加工
施設

指定管理者

邑楽町農畜産物処理加工
施設利用組合

指定の期間

平成24年4月1日から
平成27年3月31日まで



■平成23年度補正予算額

会 計 別	予算現額	補 正 額	予算総額
一 般 会 計	82億5,715万円	9,701万円	83億5,416万円
国民健康保険特別会計	29億5,022万円	3,336万円	29億8,358万円
後期高齢者医療特別会計	1億8,860万円	32万円	1億8,892万円
介護保険特別会計	15億4,064万円	4,169万円	15億8,233万円
学校給食事業特別会計	7億2,364万円	△361万円	7億2,003万円

一 般 質 問

一般質問は、12月26日及び27日の2日間にわた
り行われました。町の行政事務などについて執行
部の考えをただし、活発な議論が行われました。

新生金子町政について

田部井健二議員 金子町長の
の一期目を顧みると、町政
運営が大変であった。その
足かせになったのが、自ら
起こした裁判の問題である。
町長は4年たつて初めてこ
の裁判は私が負けたと認め
た。そういう認識でよろし
いか。

町長 本会議の中で、また
その前の全員協議会の中で
放棄ということは完全敗訴
だという話があった。それ
を受けてそのような考え方
と答えた記憶がある。

田部井健二議員 一期目の

金子町政の負の遺産、そう
いうものを引きずっていた
だきたくない。町にとつて
も、町議会にとつても、町
民の皆さんにとつても甚だ
迷惑千万である。ぜひとも
あなたにはこの件にけじめ
をつけていただきたい。こ
の件に関して9月定例会最
後の全員協議会の中で、議
員一人ひとり意見を述べた。
結果、二、三名の議員が町
長の判断に任せればよい。
残りの大多数の議員は、け
じめをつけるべき、きちん
とリセットすべきという意
見である。この件について

いかがか。

議員・町民に 大変迷惑をかけた

町長 4年間そういった形で来たことは事実である。そういう点で議員の皆さん、町民の皆さんに大変迷惑をかけた。私もこれは反省をしている。

田部井健二議員 あなたは選挙で再任され、これから4年間町民に対しても、町に対して責任がある。その責任を果たす為にも、あなたの足かせを自らの手で外しなさいという話をしてる。あなたの恨みつらみで起こした裁判が、議会にとつても町政運営についても妨げになるのは迷惑な話だ。クリアにしていきたいと思います。

町長 過去4年間の中でいろいろ言ってきた。最終の定例会の中で私自身お詫びをし、一定の整理がついたかなと理解していた。

田部井健二議員 あなたは裁判で負けたのです。野球をやったり、サッカーをやったり、柔道をやったり、どんなスポーツをやっても必ず勝ち負けがついて回る。司法の場でつく勝ち負けは、この国内でつく勝ち負けの中で、一番権威と重みがある。裁判で勝てば無罪にもなるし、負ければ重罪になることもある。人の生活すら左右するのが裁判だ。あなたは自らその場に自分の

恨みつらみごとを持って行つて、結果あなたが負けたのだ。負けを認めたら素直に謝る。なぜ当たり前のことがあなたには出来ないのか。それで子ども達の前に出て偉そうなことを言ったり、職員の前で偉そうな訓辞をしたり、だれがあなたに従うのですか。反論があれば聞きたい。

町長 今まで答えた中でご理解をいただきたい。

教育について

松村 潤議員 今、世界は急速に多様化・複雑化・グローバル化が進んでいる。このような時代に対応できる人材をどのように育成するか。人材育成はこの企業や団体等、そして行政にとつても最重要課題の一つではないかと思う。ホームステイをしながら、海外の家庭生活や自然・文化・風俗・習慣などに直接触れる

中で、国際的な視野を広げることができると考えるが、町として国際交流をどのように評価してきたか伺いたい。

教育長 今、学校教育において、社会情勢をかんがみ、グローバルな人間性や国際感覚を身につけた人材の育成が求められている。教育長として、実施できることを願いとして持っている。

また、教育委員から、国際交流事業の復活を検討する必要があるという声も確かにあった。しかし、復活となると新たに諸準備に時間がかかる。また、町の事業ということで、町と相談し検討していけたらと考えている。

松村 潤議員 中学時代の多感な時期に、海外生活をほんの少しでも体験できることは、その人のこれから的人生において大きな影響を与えることになるのは間違いないと思う。国際交流に参加した人の中には、その後、英語に興味を持ち、英語を学びたい、将来は英



平成19年度に実施された国際交流事業

教育委員会と
協議・研究

語にかかわる仕事に就きたい、英語の先生になりたいと夢を膨らませた子どももいた。子どもにはそれぞれ夢があり、希望があり、目標がある。私は、一人でも多くの生徒に交流の機会を与えてあげたいと思っている。しかし、費用の面や受け入れ先の問題等確かに大変だと思う。そこで一つの提案だが、熊本県の産山村^{うぶやま}、生徒120人の小さな小・中一貫校では、23年前から毎年タイやシンガポールの中学生と国際交流を行っている。ホームステイに係る費用は、一人10万円、そのうち個人負担が3万円。残りの7万円は、村が補助をするということだ。今、世界や日本の企業がアジアに集結し、しのぎを削っている。地域情勢や治安の問題等課題もあるが、少しでも多くの人に交流の機会を与えてあげたいと思う。今後、アジア方面への国際交流も選択肢の一つに入れるべきだと考えるが、町長の考えを聞きたい。

道の駅の建設について

町長 今までオーストラリアへの国際交流事業ということで、12回ほど実施してきた。経費の面を考えて、これからの経済の中心とな

るアジアという具体的な提案もいただいた。現状では貴重な意見をいただく中で教育委員会と協議し、研究させていただければと思っている。

その他の一般質問
・防災対策について

原 義裕議員 町長選挙公約の中で、「道の駅建設」とあり質問する。道の駅については、県東部で初めて太田市尾島地区で登録され、オープンに向けて推進している。道の駅建設は、あらゆる経済的効果があり、町長もその効果を見込んで公約に挙げたと思う。この公約をいつ頃までに実現させるのか聞きたい。

本が南北に走っている。地理的にも優位性がある。いつ頃までに道の駅構想を成し遂げるかとのことだが、現在ではまだ構想段階で、担当課長に指示して、プロジェクトチームの立ち上げを検討している。早い時期に考えを示す。

町長 質問のとおり町長選挙の際、このように訴えた。邑楽町は、国道354号線・122号線及び県道2

原 義裕議員 町長の答弁では、選挙のための公約ではないかと疑われても仕方ない。道の駅建設については、国や県が非常に力を入れている。町の活性化を図

るためには、任期4年での実行では遅い。公約に掲げた道の駅建設は、町民皆さんが期待している。産業振興、雇用の促進及び経済効果は大きく、近隣の町の核となる。いち早く実行推進・実現を望み、構想だけでなく、具体的なものが聞きたい。

町長 国土交通省等も関心を持って、既に関係部署に問い合わせが来ている。産業の活性化にもつながり、国土交通省、農林水産省及び経済産業省と上部機関との協調を考えて行く必要がある。また、道の駅については、大泉町、千代田町にも投げかけている。町独自



道の駅こもち（渋川市）

の考えより、官民共同の運営、用地の取得、施設の整備等、莫大な投資が必要だ。担当課に、プロジェクトチームの調整を指示した。いつ頃までとの日程については、早い時期にお示しして相談する。

原 義裕議員 国及び県の

道路整備課が、この道の駅について、強い関心を持って力を入れていて。プロジェクトチームを作って、公約を実行させる気持ちがあれば、構想でなく実現になる。用地買収や、現在営業しているJA「食彩館」、あいあいセンターとの兼ね合い等、数多くの問題があるが、経済効果や町の活性化を考えると、この場で立ち上げると答えてほしい。

実現できるよう努力

町長 道の駅は、国土交通省に登録された道路利用者のための、休憩施設と地域振興が一体となった道路施

設だ。既に、担当者には話しており、大泉町・千代田町にも協力を得たい。大至急、共同での実現に努める。

町長の政治姿勢について

本間恵治議員 選挙戦の中

で町民の皆さんに頼まれたと思うが、具体的な町長の発案等があるか。

町の将来像に向かって努力

町長 平成18年に作成した総合計画について、平成27年最終の町の将来像に向かって努力をする。

本間恵治議員 答弁の中で

は、具体的な話は聞けなかった。私が考えている中で質していきたい。副町長を置かないのか。

町長 今後、副町長の就任について相談したいと考えてる。

大変恐縮だが、いつまでという時期については言えない。早いうちに実現できるよう努力する。

本間恵治議員 教育委員の

欠員については。

町長 過去にいろいろな条件があつた点を十分考慮し、早いうちにと思っている。

本間恵治議員 現在、中野

小学校区に教育委員がいない。この学校区から選出する考えは。

町長 過去の経緯を踏まえて相談をしたいと思う。

本間恵治議員 私は動議を

出した。生涯学習施設すべてを診断し、優先順位をつけて対応すべきだと。そういう中で、耐震診断が終わっている部分もある。町長の考えは。



町長 平成24年度事業として取り組んでいきたい。

本間恵治議員 公共下水道

と地域し尿処理施設の公共料金について、3倍近くの格差がある。是正についての考えは。

町長 格差是正も踏まえて関係する地域の皆さんと話し合いを進めていく。

本間恵治議員 国民健康保

険税で所得割等があるが、その中の資産割を廃止する点についての考えは。

町長 税の算定については、自治体によって割合が違う面もある。応能応益割合の変更をすることは、十分慎重に考える問題とされている。今後の検討課題とさせていただきます。

本間恵治議員 鶉の区画整

理について町長の考えは。
町長 今後十分担当と協議を重ねた上で、区画整理事業について進めていきたい。

その他の一般質問
・教育行政について

「協働による町づくり」について

坂井孝次議員

協働の町づくりについて聞きたい。まず、町長のマニフェストには、協働による町づくりが約束されている。そこで現

在、協働の町づくりという考えの中で、どんなテーマを考えているのか。

町長 自分たちの地域のいろいろな課題や問題を、行

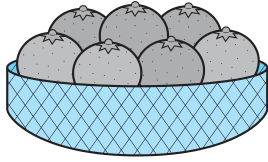
政と一緒に頑張って解決する組織づくりを進めていきたい。

坂井孝次議員 協働による町づくりを進めるにあたり、町長が一番注意したい点を聞きたい。

身近な町づくりを進めたい

町長 行政の持っている情報を早く発信することである。事業等を行う場合には、事業内容、予算やテーマを具体的に発信し、行政への関心を高め、町民の皆さんと身近な町づくりを進めたい。

坂井孝次議員 町長は、これからどういう媒体を使っ



ての情報提供をするのか。
町長 一つは、町の広報誌が大きな役割を担っている。また、町道25号線工事において、その目的、予算の執行額、実施事業者、問い合わせ先を書いた標示板を出している。内容をわかりやすく理解してもらうために、看板による媒体を使っていると思う。

坂井孝次議員 私の場合、

広報誌は一回見るともう見ない。反面、看板は通るたびにみる。道路工事や建物工事などで変化が確認できる物には、完成時期・完成予想図・工事費用や工事について意見、質問先などを書いた看板を設置して欲しい。興味のある人は、質

問や意見を役場に電話してくれる。それが協働の町づくりにつながるかと考えている。看板を使っている情報公開に何か問題があるか。
企画課長 指摘の情報公開を看板によって利用することについては、群馬県広告物条例に基づいて、利用できれば問題はない。

坂井孝次議員 問題がない

ということなので提案がある。役場北側の広場は広域公園となり、桜が植えられ、ドクターヘリの発着も考えられると聞いている。ぜひそのことを看板で、情報提供してほしい。
企画課長 公園の完成予想図等の情報開示については、担当課と検討したい。

行財政改革について

小島幸典議員 財政改革、

これは行政の柱である。さきの11月臨時会で職員給与平均0・26%削減が議会で

可決、成立した。議員においても、3月議会で2人削減案を可決し、年間約900万円の人件費削減を見込

み、平成19年の4人削減と合わせ、計6人で年間総額約2700万円の税金の節約が実施されている。昨今では、現行俸給を割合にして、名古屋市長が約68%削減し、大阪市長は俸給を30%削減。隣の千代田町でも、俸給30%削減案を執行部から議会に提案した。本町でも議員発議で、町長・前教育長の理解のもと50%削減された。今期も町長自ら、千代田町と同様な方向性をつけ、俸給削減等を議会に提出してほしい。行政のトップに立つ人が、自ら身を削る姿勢を示さなければ、人は動かないし、町民の理解が得られない。自分の俸給等を千代田町のように条例改正という形で提案できないか。
町長 質問の件については、考えていない。

小島幸典議員 明快な答弁

だが、まだ3月まで時間がある。他の方から相談があった時には、その辺を留意してもらいたい。中央公民館建設の計画が、町長

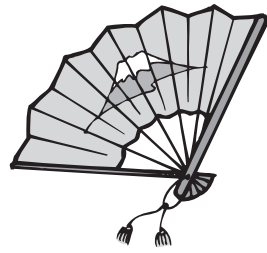
の今回の選挙チラシに入っていた。これは次の世代の人たちにマイナスの遺産、要は借金が残るだけである。請願書は、従来の公民館に、ホールを増設すれば良いという趣旨で書いてある。町民の皆さんが楽しく活動し、幸せ感を味わえることが重要であり、なにも十数億円もかける必要はない。邑楽町公民館を改築するつもりがあるのか、全然ないのか聞きたい。

町長 邑楽町公民館については耐震診断を受け、その強化が必要という結果が出ている。耐震補強工事について、取り組んでいくと理解して欲しい。

小島幸典議員 8000人

の署名が集まったときも、大変重みのある署名である。町長は議会で答弁している。また、さらに1万1000人の署名を集めた発議者の方たちが、現在の邑楽町公民館で良いと言っている。なぜ新しく中央公民館を造る考えか理解に苦しむ。十数億円かけて公民館

を建設し、その維持管理費はどうするのか。行財政改革は、世代を超えた町民が、本当に幸せ感を得られるような政策、次世代を育てる教育・福祉・健康増進と考え、ホールの立ち上げは考えなくてはならないと思うが。



幸せ感を味わうような政策を

町長 意見は十分聞いた。町民の皆さんが、幸せ感を味わうような政策をやってほしいと言うことだが、私自身もそのように進めたい。

その他の一般質問
・ 公共施設相互利用推進活動を

行政全般について

大野貞夫議員 切実な障害児を抱えている「なのはな園」は、急を要する案件である。今まで2回ほど質問をしてきた中で、その後の進捗状況の説明を聞いた。

町長 現在、旧南保育園の施設を利用しているが、使い勝手が悪い。トイレなどを含めて、大変な状況である。

る。したがって、今具体的には、旧役場庁舎の北側にある施設を利用していくことで進めている。

大野貞夫議員 今、20歳までは措置をされる。その後は保障がない。この人たちはどうしたらいいかということでは、家族からすれば常に悩む問題である。一つ

には、その地域にその人たちの作業所とかを設けられることによって、安心して措置される。そうした環境が必要ではないか。

町長 措置が切れた後のことだが、今、障害者の福祉計画の策定をし、関係する皆さん方へのアンケート調査なども行っている。私もその後の生活状況は重要と考えているので、そういったことも重要視した中で、進めて行くよう関係する皆さん方に伝えたい。

大野貞夫議員 中小零細業者の仕事を増やす意味においても、今全国的に広がっている住宅リフォーム助成制度は、群馬県内では今まで9市町村だったが、現在では16市町村で実施している。同時に、太陽光発電システムの利用者も多くなってきた。こういう現状を考えてみた場合、この制度を作つてはということでは、何度か要請をしてきたが、2期目の町長の考えは。



第三の故郷の四季

休憩室

REST ROOM



國見 浩二
(前原・4区)

私には三つの「故郷」があります。熊本、群馬、第三が約9年間住んだ米国テネシー州です。テネシーは南東部、気候はメキシコ湾からの温かい空気、カナダ方面からの冷たい空気が交わる温暖な地域です。

四季は春と秋が短く、冬が終わればすぐに夏、夏が終わればすぐに冬。春は邑楽町でもよく見られる花みずき(英名dogwood)が湖周辺に見事に咲き誇ります。

この花を見るとテネシーを思い出します。夏は日本で少なくなった蛍が家の周りでひと月程乱舞します。子ども達は初めて見る多数の蛍に毎夏感激していました。秋はいきなり気温が下がり見事な紅葉となり、平地でも美しい「日光」の景色です。冬は時に北から大寒波が押し寄せ、枯木に桜の花が咲いた様な樹氷が見られます。日本ではなかなか見られない自然を楽しみました。テネシーは四季の変化に富んだ美しい故郷です。

リフォーム助成制度は 実施の方向

町長 邑楽町の家屋をみると、築数十年たっている家屋も多く、3・11の大震災の被害状況をみても、その被害とあわせてリフォームをしたと聞いている。したがって、地元への援助ということを考えれば、効果は大変大きいと思っている。今、担当課長に指示してあるので、この制度については、実施の方向で考えている。

宅のその後の進捗状況について聞きたい。

町長 町営住宅の建設事業費ということで、今年当初に認めていただいた。町営住宅の運用管理委員会を設置し、建て替えについての具体的な計画を検討している。委員会の中では、基本実施計画の策定を基にし、平成24・25年度の2カ年で実施したいということで諮問している。その答申の中で、具体的な実施に向けて取り組んでいきたい。

その他の一般質問

・平成23年度執行の邑楽町長選挙について

大野貞夫議員 石打町営住

放射能対策について

塩井早苗議員 東日本大震災で被害に遭われた方々に心からお見舞い申し上げます。被災者は、再建の模索をしている。本当の復興はいつできるのだろうと心が痛む。

群馬県の山間部にも高濃度の放射能が降り注いだ。美しい山々から水が流れ、田畑を汚染し、目に見えない放射能が私たちの生活を脅かしているのは現実のこと



である。小さい子どもを持つた保護者の心配は内部被爆の問題だ。子どもたちは自分で食事を選べず、親が作ったものを食べるしかない。親にはそれだけの責任がある。必要以上に不安がらず、必要な対策は取らなければならない。町で行っている現在の対策は。

町長 具体的には、保育園については福祉課、幼稚園・小学校・生涯学習施設等、人が集まる場所については教育委員会が放射線量について調査している。幸い、国で示した暫定基準値より低く安心している。食物については、順次その放

住み良い町を願って…



明野住宅団地の販売と共に購入し、邑楽町に転居して今年で24年になります。車が無いと何処にも行けず、何も買えず、不便な所に住んでしまった!と思っていた矢先、近くにスーパーができ、水を得た魚のように、毎日ベビーカーを押して通っていたことを思い出します。その子ども達も成長し時間も自由になり、友達に声をかけてもらったことをきっかけに今は、3人の友達と町内や近隣のデイスービスや、いきいきサークルに出向いています。腹話術や手遊び、パネルシアター等をして、共に時間を過ごさせていただいております。人生の先輩方が、楽しそうにしてくださったり、時には、涙を流される方もいらしたり、私の行く末を考えさせられることも多くありますが元氣も頂きます。いつまでもお年寄りの住み良い町であることを願っております。

休憩室

REST ROOM



荻原 友子
(明野・34区)



食品用放射能測定器

ジ・給食だより・献立表にも産地を含めて保護者に知らせている。

塩井早苗議員 調理前の食材の検査を全品するのは、不可能であるとの見解だが、「やろうと思えばできる」というスタンスに立って頂きたいと考えるが。

教育長 厳しい現状だが、できるだけ数多くの食材を検査する方向で努力する。

塩井早苗議員 邑楽町にも食品の放射能測定器を。

検査機械の購入か リースか検討中

町長 空間放射能測定器は今9台ある。食材の検査機械は、県から2分の1を補助するとの情報もあり、購入かリースか検討中である。専門的な職員と安心安全なマニュアルの整理を事務レベルで検討している。

塩井早苗議員 足利市の愛宕台中の校門前「本日の測

定値」の看板は、身近な伝達ツールであると思うが町の対策は。

生活環境課長 町ではホームページに掲載し、町民の多く集まる役場や公民館等にも表示している。また、紙ベースで持ち帰れるような方法も検討している。

その他の一般質問
・環境対策について

一般質問の掲載について
小沢泰治議員の一般質問は、原稿が期限までに提出されなかったため、掲載されていません。

質問事項
・子育て環境の整備と老朽化し危険な中央児童館の建て替えについて
・町道幹線19号線、地主との交渉失敗。なぜ、前代未聞の強制収用か。

議会を傍聴しましょう

次の議会は、**3月6日から16日**を予定しています。(開会は原則、午前10時)

住所・名前・年齢を受付簿に書くだけでどなたでも傍聴できます。

役場庁舎1階ロビーのテレビにおいても、本会議の様態を中継していますので、お気軽にご覧ください。

議会の会議録(議事等の経過をそのまま記録したものは、図書館、邑楽町公民館、産業研修会館(長柄公民館)、勤労青少年ホーム(ヤングプラザ)に置いてあります。また、ホームページにも会議録全文を掲載していますので、ご覧ください。

URL <http://www.town.ora.gunma.jp/gikai>

詳しくは、議会事務局まで ☎88-5511 (内線300)

議会の動き

11月

- 6日 館林地区消防組合秋季点検
- 8日 東毛広域市町村圏振興整備組合議会全員協議会
- 9日~10日 産業福祉常任委員会視察研修
- 15日 議会運営委員会
- 16日 全国町村議会議長全国大会
- 21日 総務教育常任委員会
- 25日 全員協議会
第4回臨時会
- 28日 東毛広域市町村圏振興整備組合議会

12月

- 9日 邑楽町都市計画審議会
- 13日 議会運営委員会
総務教育常任委員会
- 14日 産業福祉常任委員会
全員協議会
- 20日 邑楽館林医療事務組合議会
大泉町外二町環境衛生施設組合議会
- 22日~27日 12月定例会
(本会議、議会運営委員会、各常任委員会
全員協議会、広報委員会)
- 28日~31日 消防団歳末警戒の督励

1月

- 7日 館林地区消防組合出初め式
- 8日 成人式
- 16日 群馬県市町村トップセミナー
- 18日 広報委員会編集会議
- 23日 館林地区消防組合議会
- 25日 広報委員会校正会議
- 26日 新年賀詞交歓会
- 30日 群馬県町村議会議長会交流会



請願・陳情

4件の請願が受理され、審議の結果次のとおりになりました。

〔採択となった請願〕

▼子ども・子育て新システムの導入に反対し、現行保育制度の拡充を求める意見書提出を求める請願者
請願者
渋川市石原
コスモス保育園内

群馬県保育問題連絡会
会長 吉武 徹

〔不採択となった請願〕

▼全額国庫負担による最低保障年金制度の創設を求める請願
○・4%の年金引き下げをもとに戻すことを求め

る請願

▼年金受給資格期間の10年への短縮を求める請願
以上3件の請願者
前橋市樋越町
全日本年金者組合
群馬県本部
執行委員長 小崎洋一郎

意見書

議員提案の意見書1件を可決しました。意見書は関係行政庁に提出しました。

訂正とお詫び

議会だより129号に次の誤りがありました。
14ページわたしのふるさと
中「旧西田川郡大泉村」と記載してしまいましたが、正しくは「旧東田川郡大泉村」です。訂正してお詫び申し上げます。

わたしのふるさと

【佐賀県小城市小城町】

赤石 高子
(光善寺・15区)



小城公園

私の故郷は、佐賀県小城市です。小さな城と書いて「おぎ」。地名から想像すれば白亜の天守閣がそびえたつ城下町という感じですが、残念ながらこの町にはお城はありません。でも町を歩けば何処か城下町の雰囲気漂っています。これはその昔、京都の町を模して造られたという閑静な町並。豊かな自然を擁する小城は山紫水明の地。秀峰天山を源とする清水の滝。その清冽な水は、全国名水百選に指定されているほどです。初夏の夕暮れは、須賀神社の真下を流れる祇園川の源氏ボタルの乱舞が見物

で、まるで幻想の世界です。

私の家は、須賀神社お祇園さんの呼名で親しまれ千葉城址の小さな山の足元。祇園さんから見下す町並は整然として美しく、夏は祇園祭で賑わいます。

そして三千本もの桜が、一斉に花咲く小城公園。隣接する私の桜岡小学校。お花見の時季は町が浮かれています。あと小城を代表する名物、小城羊羹^{ようかん}。そのおいしさは全国に知られています。まだまだいっぱい紹介したいけど、書ききれないので、「いつてみんしゃい。よかとこよ。」九州の旅ならぜひ私の故郷おぎに。

第二の故郷邑楽町、白鳥舞う多々良沼も素敵です。

編集 後記

新年明けまして、おめでとう御座います。

威に晒^{さら}され、数多くの命が、失われました。昨年、国内外において自然の猛

私たちの町にも、いつ災難が起きるかも知れません。常日頃、防災に対する心構えが必要です。

議会では、昨年3月に議員定数削減があり、14人の新体制で臨んでいます。

私たち議員は、町長と共に町民皆様の幸福を祈り「住んで良かった町」「やさしさと活気の調和した町」「おうら」を目指しています。

皆様は、何を望み、何を求めているかを、議会に伝えることが大切です。広報委員会では町民皆様に議会の内容を正しく伝える使命と責任を感じています。

今後とも町の活性化のため「住民参加の町づくり」をよろしくお願いします。

(原記)